

大規模災害時における〇〇〇〇機構 医療班活動 ——DMAT資格を持つ薬剤師の活動報告

〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、 〇〇医療センター

はじめに

20XX年X月X日に〇〇地域に大規模な地震が発生。X月X日に〇〇医療センターに現地災害対策本部が設置され、〇〇〇〇機構 医療班が活動を開始した。

当医療センターからは医師、看護師、事務員、薬剤師が5名派遣され、X月XX日からXX日まで活動を行った。ロジスティックリーダーとして、日本DMATの視覚を持つ薬剤師が任命された。

この報告では災害派遣の実務について紹介し、災害医療における薬剤師のロジスティック的役割と情報共有体制の重要性を伝える。

活動内容

情報収集	機構の情報：機構本部や医療班から DMATの情報：EMIS・〇〇県のLINEグループから
ミーティング	移動経路・装備品の決定 医療班として提供する医療活動の方針の決定
反映	医療資材、ロジスティック物品の依頼 ロジスティック物品の使用練習 医療活動の方針に応じた医薬品の選定
情報共有	活動報告書を毎日作成 グループ各病院への共有
その他	初回面談、調剤、服薬指導、災害カルテの作成

医薬品・医療資材の選定

「〇〇地区で医療班が携行した方がよい薬剤一覧」を基準に選定。現地では夜に氷点下となるため、薬剤を携行管理した。

病院、薬局などが既に再開していたため、慢性期の薬剤は携行しなかった。輸液を必要とする患者は搬送を依頼し、輸液は携行しなかった。

医療班からの情報を参考に、以下の薬剤も追加した。
ロキソプロフェン錠 200錠→1000錠 / センソシド12mg
SPTローチ® / ヘパリン類似物質クリーム
アズノール軟膏 / 洗浄用生食液

医療資材については、急性期を過ぎており救急病院も稼働していることから最低限の準備に留めた。

避難所活動



チェーン脱着練習



調剤



初回面談



結果と考察

事前にチームでの活動方針、携行する物品の共有や使用方法の練習を行うことで、活動を円滑に行うことができた。

医薬品を選定できていたことで、積み下ろしに負担が無く適切な温度管理を行うことができた。

活動報告書を作成し共有することで、後続の医療班に活動内容や必要な医薬品の情報共有できた。

医療班の安全を守るための物品や必要な医薬品の準備は、先遣隊からの情報共有が重要であると考えられる。

課題

災害派遣に不慣れな薬剤師が被災地に派遣された場合、ロジスティックにおける事務員の負担が過剰になってしまう。そのため、平時からの教育、連携、仕組み作りを整備し、後続隊を含む情報共有方法を確立する必要がある。

救助物品、医薬品等の詳細
著者へのコメントはこちら！

